

1. 基本情報

- (1) 国名：ホンジュラス共和国（以下、「ホンジュラス」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：テグシガルパ首都圏（人口：約 171 万人）
- (3) 案件名：テグシガルパ市上水道改善計画（Tegucigalpa City Water Supply Improvement Project）
- (4) 計画の要約：本計画は、テグシガルパ首都圏において送配水施設の整備を行うことにより、効率的・安定的な水供給を図り、もって同首都圏における生活環境の改善に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ホンジュラスは、中南米の中でハイチ、ニカラグアに次ぐ貧困国であり、持続可能な成長に向け多くの課題を抱えている。

ホンジュラスを含む中米地域においては、域内の安定と繁栄を図るため、中米統合機構（SICA）を中核とした政治・経済面での地域統合が進められており、その円滑な進展のためには域内国である同国の安定及び発展が不可欠である。また、昨年4月の日米首脳会談や本年6月の米州首脳会議においても確認されているとおり、同国を含む中米から米国を目指す移民の増加が米国を含む地域の最重要課題の一つとなっており、移民の根本原因の一つである同国の貧困問題への取組は地域の安定の観点からも重要である。

本計画は、テグシガルパ首都圏において送配水施設の整備を行うことにより、効率的・安定的な水供給を図り、貧困層など脆弱な人々を含む市民の生活環境の改善に寄与するものであり、SDGs のゴール3（健康な生活の確保）及びゴール6（安全な水へのアクセス）の達成にも資することから、実施意義が高い。

- (2) 当該国における上水セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ホンジュラスのテグシガルパ首都圏の給水需要は 349,920m³/日に及ぶが、急速な人口増加に伴う給水需要の増加に対応できておらず、さらに、雨季、乾季の給水量はそれぞれ 199,584m³/日、133,056m³/日に留まっており、慢性的に水供給量が不足している。このような状況に加え、老朽化した水道管からの漏水や国家上下水道公社（SANAA）の運営能力の不足により無収水率が 39.2%（2016 年～2020 年の平均値）と高く、同首都圏の給水時間は 3～5 日に 1 回、12～15 時間に限定されるなど市民の生活環境に悪影響を及ぼしている。SANAA の慢性的な財政赤字による資金不足、環境への悪影響に対する懸念及び住民移転の問題により新たな水源開発が進んでいない中、限られた水資源を有効に活用するためには、送配水施設の更新や SANAA の効率的な運営が必要となっている。

このような状況を踏まえ、ホンジュラス政府及び国家水衛生員会は国家水衛生計画を策定し、取り組むべき課題の一つとして無収水の削減を掲げている。2018 年に

は、世界銀行の技術支援を通じて、テグシガルパ首都圏における上水道事業の今後10年間のビジネスプランが作成され、給水システムの改善、サービスの効率化、他ドナーとの連携を通じたインフラ投資による水供給量増加を目標とした具体的な案が示された。JICAは、同首都圏の上水道事業の現状と課題を整理した上で、上記ビジネスプランを検証し、短中期的に送配水施設の整備による無収水削減の必要性和緊急性が高いことを確認した。

本計画は、上記ビジネスプランに基づき、テグシガルパ首都圏において、送配水施設等の整備を図ることにより、同首都圏における効率的・安定的な水供給を目指すものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 送配水施設の更新（送水管、ポンプ場、配水池、配水管、水道メータ）

イ) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工・調達監理等）

② 期待される開発効果：平均給水時間（時間/日）：2.6（2020年実績値）→12.0（2030年）及び、無収水率（%）：39.2（2016~2020年の平均値）→21.0~30.0（2030年）によって、テグシガルパ首都圏における生活環境の改善への貢献が期待される。

③ 借入人：ホンジュラス共和国政府（The Government of the Republic of Honduras）

④ 計画実施機関／実施体制：テグシガルパ市上水衛生局（UMAPS）

他機関との連携・役割分担：世界銀行が予定している浄水場の改修工事について事業分担を予定。また、IDBのプログラムローンにおける政策アクションの一つとして作成される上下水道料金政策ガイドライン等の活用と協調融資の可能性を検討予定。

⑤ 運営／維持管理体制：UMAPSが給水事業の運営・維持管理を担当する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 本邦技術の活用：施設運転監視制御（SCADAシステム）等の活用を予定しているが、詳細は協力準備調査にて確認する。
- 気候変動対策（緩和及び適応）に資する可能性があるため、詳細は協力準備調査にて確認する。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

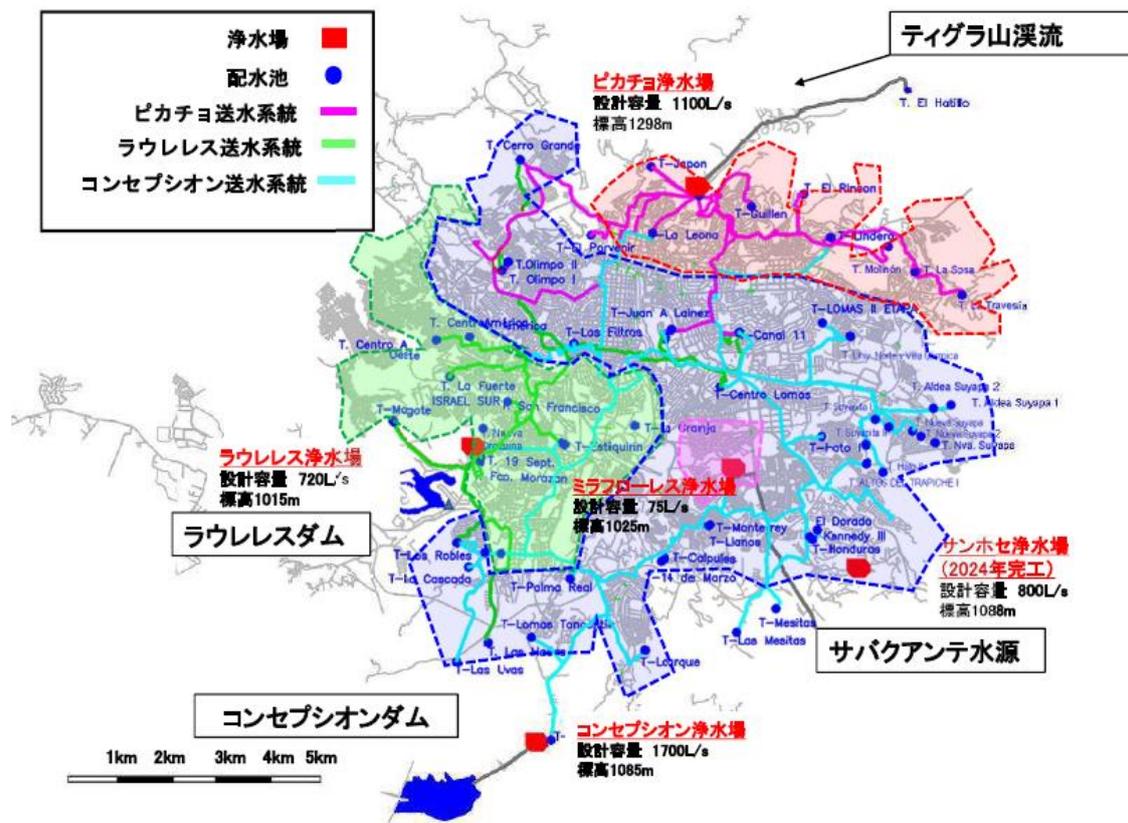
過去のジャマイカ向け「モンテゴベイ上水道事業」（評価年度2005年）の事後評価結果等から、上水道事業の財務的持続性の確保には事業コンポーネントの中に、無収水率の改善を目的としたプログラム等を含める必要があるとの教訓が得られている。本計画においては送配水施設の整備を行うことで漏水の低減が期待されるが、更なる効率的な配水のために、運営・維持管理体制の強化のための活動を含めるこ

とを検討する。

以 上

[別添資料] 地図

テグシガルパ首都圏水道改善計画 地図



出典：国家上下水道公社（SANAA）